



人物へのつきまとい、無断撮影厳禁。  
マナーを守って、気持ち良い写真を撮りましょう！

染の小道  
Some no Konichi

2022 2.25(金) - 2.27(日) 開催

第7回  
フォト  
コンテスト

主催



目白大学  
目白大学短期大学部

共催：「染の小道」実行委員会  
協力：中井商工会、中井商友会  
後援：東京商工会議所新宿支部

写真：第6回「染の小道」フォトコンテスト 最優秀賞作品「春風」

応募期間

2022

2.28(月) - 3.22(火)

応募方法

QRコードもしくは、  
URLからお送りください。  
詳しい応募方法はチラシ裏面へ



神田川・妙正寺川流域は、昭和30年代まで染色関連業が集積し、京都・金沢に並ぶ染物の三大産地として知られていました。現在もその技術を受け継ぎ、新しい染色を提案する職人・作家たちが集まり、代々の技と歴史を絶やさず今日に至っています。すっかりまちの風物詩となった「染の小道」は、落合・中井地域を中心に、地場産業である染色を軸に、まちの活性化をめざす一大イベントとして、多くの人々の参加と協力のもとに親しまれ、今年度は**2022年2月25日～2月27日**に開催されます。そこでこのたび、目白大学では、本イベントの開催と人々の交流やまちの賑わい等を記録として後世に伝えていくために、本イベント開催期間中に撮影された写真を募集するフォトコンテストを実施いたします。奮ってご応募下さいませようご案内申し上げます。

第7回  
染の小道  
Some no Komichi

フォトコンテスト募集要項

※撮影時の注意：人物を撮影したり被写体に人物がはっきりと写る場合は、必ず本人の承諾を取ってください。

応募部門 (1)一般部門 (2)学生部門

応募期間 2022年2月28日(月)～3月22日(火)

応募方法 <専用フォームでのご応募>  
以下のURLもしくはQRコードより、ご応募下さい。  
<https://www.mejiro.ac.jp/univ/research/forms/someno-komichi-photo/>  
※プリント写真の郵送等での受付は行いません。



- 応募作品の規定
- 応募資格： 日本国内在住のアマチュアの方。年齢は問いません。
  - 応募条件： ①「染の小道2022」開催期間中に撮影された作品に限ります。  
②応募点数は1人2点以内とします。  
③応募者本人が撮影し、他のフォトコンテストに応募中でない、および過去に入選したことのない作品に限ります。
  - 作品の規格： ①デジタルデータのみでの受付で、規格はJPEG形式・1作品10MB以内とします。  
②デジタル加工の有無は問いません(審査に影響はありません)。
  - 肖像権等： 他者の知的財産権及び肖像権を侵害しない作品に限ります。応募作品に肖像権が発生する場合は、撮影者の責任において必要な許諾等の対応をした上でご応募下さい。問題が生じた場合、主催者及び共催者はその責任を負いません。
  - 応募作品は返却いたしません。ご応募にあたり記載いただく個人情報は、本コンテストの運営のみに使用します。作品を展示する際に、撮影者の所属や氏名を明示することがあります。ご応募いただいた作品の著作権は著作者に帰属しますが、目白大学・目白大学短期大学部及び「染の小道」実行委員会にその使用权を許諾いただき、同作品を出版物、宣伝広告及びイベント等において無償で使用することができます。この場合、入賞者は、主催者及び「染の小道」実行委員会に対し、著作者人格権に基づく権利の主張を一切行わないものとします。
  - 応募作品の審査：第7回「染の小道」フォトコンテスト審査委員会において厳正に審査を行います。なお、本コンテストは写真の技術を競うだけでなく、まちの賑わい等イベントの記録を目的とするものです。審査及び審査結果に関するお問い合わせには一切お答えできません。
  - ご応募いただいた時点で本コンテストの応募規定に同意承したものとみなします。

入賞発表 2022年4月中旬に、入賞者宛てに通知します。別途、表彰式を開催する予定です。

- 賞及び副賞
- ①最優秀賞(両部門を通じて1名)  
賞状及び副賞(QUOカード1万円)
  - ②優秀賞(一般部門2名、学生部門1名)  
賞状及び副賞(QUOカード5千円)
  - ③入賞(各部門若干名)  
賞状及び副賞(QUOカード1千円)
  - ④審査委員特別賞(両部門を通じて1名)  
賞状及び副賞(QUOカード5千円)

入賞作品の展示 入賞作品は、目白大学、外部施設等において展示する予定です。また、「染の小道」及び目白大学ホームページにおいても発表します。

特別審査員



原 繁  
Shigeru Hara

Profile  
1955年 北海道足寄生まれ  
1978年 日本大学芸術学部写真学科卒業  
愛媛県/日刊新愛媛写真部勤務  
1983年 フリーカメラマンとして活動開始  
1994年 総理府PKO事務局からの派遣で、中米エルサルバドルの公式記録撮影を担当。記録写真集を出す。  
2003年 目白大学メディア学部メディア学科非常勤講師

[過去の主な仕事]  
・週刊朝日、週刊ダイヤモンド、週刊SPA、蛭雪時代などの取材記事写真  
・コニカ、サントリー、山一証券、ヤマハ、本田技研工業、等各社のPR誌の写真担当

